

☆現在、桃は収穫ピーク中と、また各品目の収穫時期についても近づいてきております。**薬剤の収穫前日数及び年間使用回数に注意して散布してください。**

今回の防除情報については下記の内容にてお知らせさせていただきます。なお、防除内容の確認を行い作成しておりますが、皆様におかれましても防除の際には、防除暦を参照するとともに使用農薬に記載されている希釈倍数等の内容を必ず確認してください。

注意事項：展着剤は、各樹種共通でアイヤーエース10,000倍（10cc）又はラビデン3S 10,000倍（10cc）を使用する。

【 も も 】（防除暦 30～31頁参照）

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度（水100ℓ当り）	SS 散布量
★収穫が終了した園にも、シンクイムシ類やモモハモグリガ対策として殺虫剤のみの散布をお願いします。				
14	8／5頃 川中島白桃収穫直前	灰 星 病 す す か び 病 ・ 果 実 赤 点 病 (モモハモグリガ・シンクイムシ類)	1. 展着剤 2. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ
		1. 残袋にならないよう収穫を行う。 2. モモハモグリガの発生が見られる場合は、ディアナWDG1万倍（10g）も使用する。なお、 ディアナWDGは年間2回まで なので注意すること。また、既にディアナWDGを2回使用している場合は、 ダイアジノン水和剤1,000倍（100g） を使用する。ただし、 ダイアジノン水和剤は年間4回まで なので注意すること。【薬剤の年間使用回数に注意】		
15	8／15頃 ゆうぞら収穫直前 さくら白桃除袋後	灰 星 病 ホ モ プ シ ス 腐 敗 病 モ モ ハ モ グ リ ガ シ ン ク イ ム シ 類 ア ザ ミ ウ マ 類 ア ブ ラ ム シ 類 カ メ ム シ 類 カ イ ガ ラ ム シ 類	合ピレ剤使用可能地域 1. 展着剤 2. ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (33g) 3. モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) 合ピレ剤使用規制地域（養蚕地帯） 1. 展着剤 2. ファンタジスタ顆粒水和剤 3,000倍 (33g) 3. ダイアジノン水和剤 1,000倍 (100g)	300ℓ
16	8／25頃 極晩生種収穫直前	灰 星 病 ホ モ プ シ ス 腐 敗 病	1. 展着剤 2. ロブラール水和剤 1,500倍 (65g)	300ℓ
		1. 今回以降に収穫する品種については、 オンリーワンフロアブル 2,000倍（50cc） を使用する。		

【 り ん ご 】（防除暦56頁参照）

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度（水100ℓ当り）	SS 散布量
特別 散布	8/5頃	落 果 防 止 剤 (サ ン ツ ガ ル)	1. ストップール液剤 1,500倍 (65cc) ※展着剤は加用しない。他剤とは混用しない。 ※軟化防止のため基本的には1回散布とする。 収穫前規制：収穫開始予定日の25日前～7日前	300ℓ
12	8／10頃	斑点落葉病・輪紋病・炭そ病 褐 斑 病 ・ す す 点 す す 斑 病 ・ 黒 点 病 ・ 黒 星 病 シンクイムシ類・キンモンホソガ ギンモンハモグリガ・アブラムシ類 リンゴワタムシ・（ハダニ類）	1. 展着剤 2. ダイパワー水和剤 1,000倍 (100g) 3. モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)	500ℓ
		1. ナミハダニの発生が見られる場合は、 マイトコーネフロアブル1,000倍（100cc） も使用する。なお、 マイトコーネフロアブルは年間1回まで なので注意すること。 2. 隣接園に注意して散布する。 3. モスピラン顆粒水溶剤は、合ピレ剤使用可能地域での使用とする。		
13	8／24頃	斑 点 落 葉 病 ・ 輪 紋 病 褐 斑 病 ・ 炭 そ 病 す す 点 ・ す す 斑 病 (シンクイムシ類)・(キンモンホソガ) (ハマキムシ類)	1. 展着剤 2. ナリアWDG 2,000倍 (50g)	500ℓ
		1. シンクイムシ類、キンモンホソガの発生が多い場合は、 スカウトフロアブル2,000倍（50cc） も使用する。ただし、合ピレ使用規制地域では使用しないこと。 2. ナリアWDGは、ピオーネ、ル・レクチェに薬害を生ずるおそれがあるので注意して散布する。		

【 赤 な し 】幸水・豊水・あきづき・秀玉・新高・王秋（防除暦84頁参照）

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度（水100ℓ当り）	SS 散布量
15	8／10頃	シ ン ク イ ム シ 類 カ メ ム シ 類	合ピレ剤使用可能地域 1. アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g) 合ピレ剤使用規制地域（養蚕地帯） 1. オリオン水和剤40 1,000倍 (100g)	250ℓ
		1. オリオン水和剤40は収穫前3日まで なので注意すること。 2. アルバリン顆粒水溶剤とスタークル顆粒水溶剤は同一薬剤なので使用回数に注意する。		
16	幸水収穫 終了直後 （全品種）	黒 星 病 (シ ン ク イ ム シ 類)	1. 展着剤 2. ストロビードライフロアブル 3,000倍 (33g)	250ℓ
		1. 今回以降の散布は、黒星病の翌年の伝染源になるりん片の感染を予防するのに重要である。 2. シンクイムシ類の発生が多い場合は、合ピレ剤使用可能地域では、 スカウトフロアブル2,000倍（50cc） も使用する。		

【 青 な し 】二十世紀・南水（防除暦92頁参照）

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度（水100ℓ当り）	SS 散布量
15	8／10頃	黒 斑 病 ・ 黒 星 病	1. ストロビードライフロアブル 2,000倍 (50g)	300ℓ
16	8／25頃	黒 斑 病 ・ 黒 星 病	1. オンリーワンフロアブル 2,000倍 (50cc)	300ℓ
特別 散布	8月下旬	落 果 防 止 剤	1. ストップール液剤 2,000倍 (50cc)	250ℓ

【ぶどう】(防除暦129頁参照) ◎ボルドー液散布のため、隣接するもも園への飛散には十分注意してください。

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
11	8／5頃	黒とう病 べと病 さび病	1. ICボルドー66D 50倍 (2kg) または 4-4式ボルドー液 ①アビオンE 1,000倍 (100cc) ②生石灰 (400g) ③硫酸銅 (400g)	300ℓ
			1. ICボルドー66Dまたは、4-4式ボルドー液に替えてムッシュボルドーDF500倍(200g)を使用してもよい。	
12	8／20頃	黒とう病 べと病 さび病	1. ICボルドー66D 50倍 (2kg) または 4-4式ボルドー液 ①アビオンE 1,000倍 (100cc) ②生石灰 (400g) ③硫酸銅 (400g)	300ℓ
			1. ICボルドー66Dまたは、4-4式ボルドー液に替えてムッシュボルドーDF500倍(200g)を使用してもよい。	

【おうとう】(防除暦147頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
12	8月 上旬頃	褐色せん孔病	1. 展着剤(ラビデン3S) 2. チオノックフロアブル 500倍 (200cc)	500ℓ
		1. 今回以降降雨が続く場合は、チオノックフロアブル500倍(200cc)を使用する。但し、チオノックフロアブルの散布は年間5回なので回数に注意する。		

【かき】(防除暦158頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
7	8月上旬頃	炭そ病・落葉病	1. 展着剤	400ℓ
		うどんこ病	2. ストロビードライフロアブル 3,000倍 (33g)	
		アザミウマ類・カメムシ類	3. アルバリン顆粒水溶剤 2,000倍 (50g)	
		1. 合ピレ剤使用規制地域(養蚕地帯)では、アルバリン顆粒水溶剤にかえて、スミチオン乳剤1,000倍(100cc)を使用する。		
8	8月下旬	落葉病・すす点病	1. 展着剤	400ℓ
		炭そ病・うどんこ病	2. ベルクート水和剤 1,500倍 (65g)	
		1. すず点病の重要防除時期。		

【すもも】(防除暦 170頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)			SS 散布量
11	8月 中旬頃 (秋姫収穫直前)	灰 星 病	1. オンリーワンフロアブル	2,000倍	(50cc)	300ℓ
		シ ン ク イ ム シ 類	2. バリアード顆粒水和剤	4,000倍	(25g)	
		1. 合ピレ剤使用規制地域(養蚕地帯)では、バリアード顆粒水和剤は使用しない。				

【ネクタリン】(防除暦 192頁参照)

散布回数	散布時期	対象病害虫	薬剤の種類及び濃度(水100ℓ当り)	SS 散布量
14	8／5頃	灰星病 ホモプシス腐敗病	1. 展着剤 2. ベルクートフロアブル 1,500倍 (65cc)	300ℓ

※表中の日付は果樹研究所(飯坂町平野)を基準にしております。各園地との差異を考慮して、適期防除に努めてください。

★農薬散布は、無風又は風の弱いときに行うなど、近隣に影響の少ない天候の良い日を選んで散布しましょう。散布時間帯についても通学や出勤時間帯は避け、住宅地に混在している園地では十分注意して散布をお願い致します。また、希釈倍数・散布量・散布時期(収穫前日数)にも十分注意してください。

果樹園周辺に野菜園地がある場合には特に注意してください!!

☆不明の点がありましたら、営農指導員までお問い合わせ下さい。